

投げる方もなかなか大変です。



なかなか飛ばない4号ボール

11月23日、第5回地区公民館対抗ソフトボール大会が町総合運動場において開催されました。

この大会は、スローピッチルールで行われ、4号ソフトボールという、夏ミカンより大きなボールを使用して行われ、大きなボールが山なりで投げられるため各地区のソフトボール自慢たちもなかなか飛ばないボールに悪戦苦闘している様子でした。



狙いはやっぱりホームラン!

それでも選手達は、「飛ばないボールだろうが、狙いはひとつ、ホームラン!」という感じでフルスイングを繰り返していました。

そして、真剣勝負のなかでも和気あいあいと交流を深めながら好プレーや珍プレーが続出するこの大会を全身で楽しんでいました。

大会終了後は、各地区で祝勝会や反省会が行われた模様で「夜の部」もそれぞれに大変な盛り上がりを見せたとのことでした。

横断幕を掲げ、防災を願う園児たち



わたしたちはひあそびをしません

11月11日、法輪保育園の園児たちが「火の用心」を訴えて防火パレードを行いました。

パレードは、保育園から役場本庁舎まで鼓笛隊を先頭に「戸締り用心!火の用心!マッチ一本火事のもと!」大きな掛け声をかけながら元気よく行進しました。

役場に到着後は、一生懸命練習した和太鼓の演奏を披露し、「わたしたちはひあそびをしません」の横断幕を掲げ、火遊びをしないことを誓いました。

この時期は空気も乾燥し、マッチ一本の小さな火が大火に繋がりがやすい季節でもあります。園児たちの「火の用心」の願いがかなうよう、火の元には十分に注意して火災のない錦江町に町民全員でしていきましょう。

今年はユーモアで勝負しました?

KKBふるさとCM大賞において、本町の作品が「ユーモア章」を受賞しました。

これは、各自治体がふるさと自慢のCMを作成し、その出来を競うもので本町からは「残業中!?!」のタイトルで、「錦江町は癒される町、懐かしさがある町」をコンセプトにした作品を出品しました。

ユーモアたっぷりに本町をPRした作品に会場からは一番の笑いをいただくも審査員の反応はいまいち。「4年連続の受賞は成らずか?」と思われましたが見事ユーモア賞をいただきました。

これから1年間、KKB鹿児島放送で30本のCMが流れますので、ぜひ注目してみてください。また、本町とKKBのホームページでもご覧いただけます。

写真が気になる方は、今すぐ確認してみてください。

スーツでプールに飛び込む男!

